

# 令和8年度予算見積調書

課室名: 税務課  
担当名: 税務DX推進担当  
内線: 2655

(単位: 千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
P22	税務行政のDX化推進事業	一般会計	総務費	徴税費	賦課徴収費	税務システム維持管理費
事業期間	令和6年度～ 法 令	根拠なし	針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール9
			分野施策	0805	デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット9-1
1 事業概要	税務業務を電子化し、紙前提の業務プロセスからの脱却を図るため、文書管理システムを構築するとともに、現在のように決められた場所や環境に縛られず、多様な働き方を実践できるようなテレワーク環境を構築する。	ア 文書管理システムの構築・運用事業 82,037千円	イ テレワークシステムの構築・運用事業 108,091千円	5 事業説明 (1) 事業内容 ア 文書管理システムの構築・運用事業 82,037千円 イ テレワークシステムの構築・運用事業 108,091千円	82,037千円 108,091千円	
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)		文書管理システム・テレワークシステムの構築・運用事業 ・令和6年度 基本設計 ・令和7年度 詳細設計、構築 ・令和8年度 テスト、稼働	(2) 事業計画 文書管理システム・テレワークシステムの構築・運用事業 ・令和6年度 基本設計 ・令和7年度 詳細設計、構築 ・令和8年度 テスト、稼働	(3) 事業効果 ・窓口業務改革により、県民や事業者の申告に要する時間が削減できる。 ・税務業務において、ペーパーレスが推進される。 ・税務業務の電子化により業務の効率化が図られる。 ・育児や介護等がある職員も柔軟な働き方が可能となり、能力が十分に発揮できる。 【活動指標（アウトプット）】 ・税務業務の電子化 ・税務業務でのテレワークの実現 【成果指標（アウトカム）】 ・県民等の窓口に要する時間約21,000時間削減 ・ペーパーレス約390万枚 ・災害時等の業務継続		
3 地方財政措置の状況 なし						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4人=38,000千円						

予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との対比
決定額	190,128						190,128	△749,872
前年額	940,000						940,000	

## 事業内訳書

事業名	税務行政のDX化推進事業		
単位事業名	文書管理システムの構築・運用事業	予算額	82,037千円

○歳入 (単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	82,037	△663,987	
合計	82,037	△663,987	

○歳出 (単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	21,985	13,104	専用回線、チャット機能利用料
委託料	22,300	△714,843	文書管理システム設計・構築業務委託
使用料及び賃借料	37,752	37,752	サーバ等機器賃借
合計	82,037	△663,987	

単位事業名	テレワークシステムの構築・運用事業		
	予算額	108,091千円	
○歳入 <span style="float: right;">(単位 : 千円)</span>			
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	108,091	△85,885	

単位事業名	テレワークシステムの構築・運用事業	予算額	108,091千円
-------	-------------------	-----	-----------

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	108,091	△85,885	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	73,418	△120,558	テレワークシステム構築費
使用料及び賃借料	34,673	34,673	サーバ等機器賃借
合計	108,091	△85,885	